

## 「石垣島への陸上自衛隊配備に関する記者会見」マスコミ配布資料

### 《市長コメント》

本日、私は石垣市長として、石垣島への陸上自衛隊配備に関し、防衛省に対し、配備へ向けた諸手続きを開始することを、了承する旨、伝達することをご報告いたします。

石垣島への陸上自衛隊配備計画について、昨年11月26日に若宮防衛副大臣から要請を受け、これまで2回にわたる防衛省主催による住民説明会や、本市主催による公開討論会、更には、市民の負託を受けた市議会を通しての、賛成、反対双方の立場から活発な議論がなされました。そして、9月定例会においては、「石垣島への自衛隊配備を求める決議」が可決されております。

我が国の固有の領土、そして本市の行政区である尖閣諸島周辺での中国公船による領海侵犯や中国軍艦による接続水域への航行、北朝鮮のミサイル発射など、我が国の安全保障環境が非常に厳しさを増している現状において、日本の生命線であるシーレーンの確保や、大規模災害等の各種事態へ対応など南西諸島地域の防衛体制の充実ということがきわめて重要であるという認識を持っています。

私は、住民福祉の向上を図る責任を負い、市民の生命・財産を守る立場として、石垣島への陸上自衛隊配備について理解したうえで、本日、防衛省に対し、配備に向けた諸手続きを開始することを了承する旨、伝達いたします。

今後は、陸上自衛隊配備についての、具体的な計画が出てきた段階で、本市の一般行政事務及び関係法令に適合するかどうか精査し、市民の皆様の声、市議会での議論等を経て、防衛省とも調整したうえで、最終的な決断をさせていただきます。